

令和8年第2回木津川市議会定例会 開会あいさつ

皆様、おはようございます。

本日ここに、令和8年第2回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用のところ、ご出席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

それでは、本定例会冒頭の貴重なお時間をいただきまして、市政の状況などにつきまして、ご報告させていただきます。

まず、台風6号の対応及び防災パトロールについてでございます。

一昨日からの台風6号の接近に伴い、危機管理課による特別配備体制を整えたところです。市内の被害状況につきましては、昨日までに市内各所で若干の倒木等があったものの、幸いにして人的被害はございませんでした。

なお、この状況下において、淀川河川事務所様の了解のもと、小川内水排除施設の試験運転を実施し、無事に排水ポンプを稼働することが確認できましたことをご報告いたします。

また、先月26日に、令和8年度木津川市防災パトロールを実施し、議長をはじめ、関係機関の皆様にご出席をいただいたところです。

パトロールの実施場所は、山城地域の国道163号斜面崩土対策工事として令和7年度に行われた吹付法枠工と鉄筋挿入工の状況や、上狛蓮池で予定をしている堰堤改修工事現場の現状について、現地で各関係機関とともに確認いたしました。

引き続き、関係機関の皆様と、顔の見える関係を構築しつつ、より迅速な防災体制を構築してまいります。

次に、令和8年度における市の組織体制についてでございます。

今年度は、30名の新規採用職員を迎えるとともに、人事異動により、若手・中堅職員・女性管理職の登用や育成についても積極的に行い、職場の活性化と組織力の強化を図りました。

また、昨年度まで個別に契約していた施設の維持管理業務や修繕業務を一括して民間事業者に委託する「木津川市公共施設包括管理業務」を導入いたしました。

公共施設包括管理業務により、市の所有する建築物ごとに、施設の基本情報や劣化状況、維持管理に係るコスト等などの情報をまとめた「施設カルテ」の作成につなげるなど、今後も、効率的で市民の皆様にご満足いただける更なる公共施設マネジメントを推進してまいります。

次に、学校法人大和学園様と木津川市との包括連携協定の締結についてでございます。

去る4月22日に、食と観光のプロフェッショナルである大和学園様と「食」を通じた地域活性化、観光振興、文化振興及び人材育成等に関し、連携・協力していくため「包括連携協定」を締結させていただきました。

協定内容は、地産地消の推進及び地域農産物を活用した商品開発や食文化を活かした観光資源の創出及び情報発信、茶文化・伝統行催事等の継承及び教育プログラムの実施などで、理事長の田中幹人様に市役所へお越しいただき直接協定書を取り交わしたところです。

また、当日は、木津川市の緑茶を贅沢に使用したロールパンを製造いただき、私も試食させていただきました。

今年度は、学生の皆さんが本市の茶葉や特産品を使ってパンを開発して下さる実習や、本市の名前を冠したスイーツコンクールなどを予定いただいております。

学生の皆さんの斬新なアイデアと、本市の豊かな地域資源が掛け合わさることで、木津川市にこれまでにない新たな魅力が生まれ、それが市内外へと発信されていくことを大いに期待しております。

次に、昨年、大阪・関西万博で活用されておりました残念石の返却についてでございます。

万博会場の解体工事進捗に伴い残念石5個が、先月28日に、搬出時と同じ仮移設場所に返却されました。

この残念石は、大阪・関西万博において、会場のトイレ棟の屋根を支える柱として、残念石の文化的価値はもとより木津川市をPRする場として活用いただいたところです。

残念石は、地域を知るうえで貴重な文化財でありますので、今後、しっかりと保存、活用してまいります。

次に、市役所本庁舎等の開庁時間の短縮についてでございます。

今月1日から、市役所本庁舎、加茂支所、山城支所及び上下水道部庁舎における開庁時間を、午前9時から午後4時30分へと短縮しました。

現時点で、開庁時間の短縮により大きな混乱等はありません。

開庁時間の短縮により得られた時間については、職員間における知識や技能の共有、また業務改善に向けた打合せ等に充てることで、多様化する地域課題の対応や市民サービスの質の向上に努めてまいります。

最後になりましたが、お手元にお届けいたしております、同意8件、承認4件、議案10件、報告5件につきましては、後ほどご説明をさせていただきますので、よろしくご審議をいただきご議決賜りますようお願いを申し上げます、簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。